

2019年10月 効能変更に伴う改訂

第3類医薬品

ご使用に際して、この説明文書を必ずお読みください。  
また、必要な時読めるよう大切に保管してください。



ビタミンB<sub>2</sub>B<sub>6</sub>主薬製剤

# ビハクシロップ®

口内炎、皮膚炎、唇の両端のひび割れに

ビハクシロップは…

- 口内炎、皮膚炎、唇の両端のひび割れに効果をあらわすビタミンB<sub>2</sub>・B<sub>6</sub>を配合しています。
- お肌や粘膜の炎症に効果をあらわすヨクイニン（ハトムギの種子）のエキスを配合しています。
- 3ヵ月のお子様から服用できる、甘くてのみやすいシロップです。

## ⚠ 使用上の注意



### 相談すること

1. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性がありますので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください

関係部位	症状
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振、胃部不快感、胃部膨満感

2. 服用後、次の症状があらわれることがありますので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください  
下痢

3. 1ヵ月位服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください



### 【効能】

- 次の諸症状の緩和：  
口角炎(唇の両端の腫れ・ひび割れ)、口唇炎(唇の腫れ・ひび割れ)、口内炎、舌の炎症、湿疹、皮膚炎、かぶれ、ただれ、にきび・吹き出物、肌あれ  
「ただし、これらの症状について、1ヵ月ほど使用しても改善がみられない場合は、医師又は薬剤師に相談すること。」
- 次の場合のビタミンB<sub>2</sub>B<sub>6</sub>の補給：  
肉体疲労時、妊娠・授乳期、病中病後の体力低下時

### 【用法・用量】

下記の服用量を食後に服用してください。

年齢	大人(15歳以上)	11~14歳	7~10歳	3~6歳	1~2歳	6~11ヵ月	3~5ヵ月	3ヵ月未満
1回服用量	 10mL	 6mL	 5mL	 3mL	 2.5mL	 2mL	 1.5mL	服用しないでください
1日服用回数	3回							



### 〈用法・用量に関連する注意〉

- (1) 定められた用法・用量を厳守してください。(添付の計量コップをご使用ください)
- (2) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。

### 〔成分・分量と働き〕30mL中

成分	分量	働き
ビタミンB <sub>2</sub> 酪酸エステル	12mg	皮脂の分泌を抑え、にきびに効果をあらわします。また、口の中の粘膜に働き、口内炎に効果をあらわします。
ビタミンB <sub>6</sub>	48mg	ビタミンB <sub>2</sub> と働きあって皮膚の新陳代謝を活発にし、にきびや肌あれなど、また、口の中の粘膜に働き、口内炎に効果をあらわします。
ニコチン酸アミド	60mg	ビタミンB群の一種で、皮膚や粘膜の健康に役立ちます。
ヨクイニン流エキス	1,170mg	一般にハトムギの名前で知られている生薬で、肌あれなどに用いられています。

添加物として、パラベン、安息香酸Na、白糖、アルコール、ショ糖脂肪酸エステル、ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール、ヒドロキシプロピルデンプン、ジメチルポリシロキサン、二酸化ケイ素、クエン酸、香料(グリセリン、バニリンを含む)を含有します。

### 〈成分・分量に関連する注意〉

本剤はビタミンB<sub>2</sub>酪酸エステルを含有するため、本剤の服用により、尿が黄色くなることがあります。

### ◎保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。  
(誤用の原因になったり品質が変わるおそれがあります。)
- (4) 使用期限をすぎた製品は、服用しないでください。
- (5) 甘味成分のためキャップが開けにくくなるがありますが、このようなときは、一度キャップ部を温湯に浸してから開けてください。
- (6) 本剤は、懸濁性のシロップ剤のため、よく振ってから服用してください。



### ビタミンの知識

ビタミンB<sub>2</sub>・B<sub>6</sub>の不足は、乳製品、肉類、豆類などの食品が十分得られなかったり、胃腸障害などで十分吸収されなかったり、発熱性消耗性疾患、激しい運動、飲酒、抗生物質の連用などで、これらのビタミンをたくさん消耗する原因があったときに起こります。

健康は正しい食生活から生まれます。好き嫌いをなくし、いろいろな食品をバランスよくとりましょう。

副作用被害救済制度のお問い合わせ先  
**(独)医薬品医療機器総合機構**  
[http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai\\_camp/index.html](http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai_camp/index.html)  
電話 0120-149-931(フリーダイヤル)

本製品についてのお問い合わせは、  
お買い求めのお店又は下記にお願い申し上げます。  
**佐藤製薬株式会社 お客様相談窓口**  
電話 **03-5412-7393**  
受付時間 9:00~17:00(土、日、祝日を除く)

製造販売元  
**佐藤製薬株式会社**  
東京都港区元赤坂1丁目5番27号